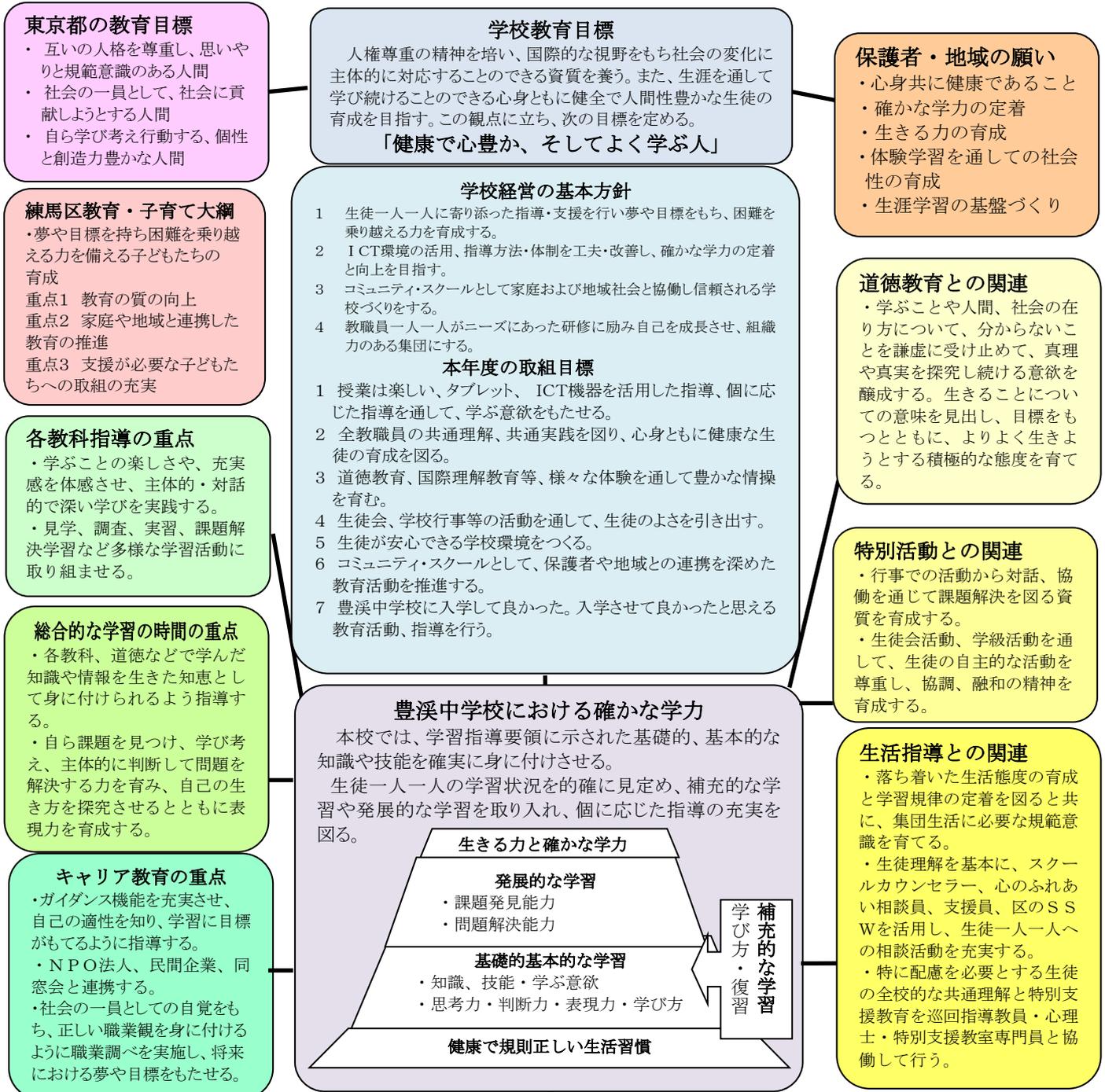


# 学力の向上を図るための全体計画



## 授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫と学びの支援	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを積極的に活用する。</li> <li>実験や実習を多く取り入れた授業を展開し、学習意欲を高める。</li> <li>英語・数学で習熟度を考慮した少人数指導を実施する。</li> <li>できる限りの教科で分割授業を実施する。(現在2教科)</li> <li>全学年全校体制で夏季学力補充教室を開設する。</li> <li>放課後の自主学习教室(K中パーシック)や11月以降に入学に向けた補習(K中ゼミ)を行う。</li> <li>生涯にわたる能動的な学びに向け、他者との協働を取り入れた授業を展開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事の精選に努め、道徳、総合的な学習の時間を計画的に実践し、各教科において標準時数を超えた授業時数を確保する。</li> <li>できる限り授業時間を確保し、教科時数の確実な実施となるように配慮する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用した授業づくりに向けて授業研究を推進する。</li> <li>課題改善カリキュラムの活用と見直しを通じて、指導課題の明確化と指導方法の改善に努める。</li> <li>小中一貫教育研究グループの授業研究を通じて9年間を見据えた指導の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科の評価規準、基準を見直す。</li> <li>観点別評価から評定に至る総括方法についての共通理解を図り、評価に対する客観性、信頼性を高める。</li> <li>生徒、保護者による授業評価を行い、授業改善に資する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>面談等を通して規則正しい生活習慣や家庭学習の定着を図る。</li> <li>地域の活動にボランティアとして生徒を積極的に参加させる。</li> <li>NPO法人や民間企業、同窓会と連携したキャリア教育を推進する。(ライフプランニング等)</li> <li>学校支援コーディネーターの活用</li> <li>コミュニティ・スクールとしての取組</li> </ul>